

意義のある新聞を

＝文芸＝
作品募集
新聞局まで

高校山岳部

8月1日晴 大駒昇御
黒部五郎岳→三俣蓮華奥↓
双六岳
5時起床、5時55分出発。今日も又快晴、全く幸運である。リヌックもすこし軽くなったようである。黒部五郎の登り道は全くつらいものであった。双六岳ですこし道に迷ったが無事小屋に到着することが出来た。着いた時は真暗であつたが全員元気一杯である。
8月2日晴 双六岳→槍ヶ岳→上高地
いよいよ今日は槍ヶ岳へ、6時出発。屋根すたいに槍ヶ岳まで3時間程である。右に稜高の山々を見て両側は切り立つたがけである。前方にはたんとと槍の穂先

います。例えば、パスカルの有名な「假想録」という名作はこのような本であります。それを理解するためには、歴史上のことやキリスト教的事情をも良くわかる必要があります。しかし、世界歴史を要約する一つの本があります。この本は天主様自身が書きました。勿論、人を使つてこの本を書かせ

が大きくなつて来た。最後の登りをあえぎあえぎ登つて12時にやつと到着した。これから上高地までは7時間の行程である、出発は18時、日が暮れるまでに到着しなくてはならないので、歩くその早さは背中にかついでいる物を忘れるほどのスピードである。途中二、

デ
イ
モ
ン
テ
ィ
ニ
ー
神
父

合うように鑑賞しているからです。結局、聖書は天主様の作品ですから、普通の人はそれを完全に理解することが出来ません。

やはり、天主様の代理者である公教会だけはそれを適当に説明することができる事です。

「しかし、聖書はどのような本でありますか？」

聖書は本当の人間生活を教えるして受けるかを学び取ります。

も聖なる者は神と同時に人を持たれたイエス・キリストでありました。諸國に弟子を作りに行き、父と子と聖靈とのみ、何によつて洗礼を授け、私があなた達に命じたとすをすべて守るように教えなさい。」

私は世の終りまで常にあなた達と共にいる」と。

国宝を保存するために特別な会を作ります。同じように、心理の宝である聖書を讀りなく保存する

以上は簡単な聖書についての説明ですが、その内容などについて質問があるならば、どうぞ自由に尋ねてください。お待ちしております。

Father Fernand de Montigny, Victorian

x x x x

三回休んで約五時間程がかつて18時すぎに上高地へ到着。

8月3日晴 上高地↓松本
朝めつくりとねて、10時頃から大正池へ行つた。途中の道は泥沼のようであり、なかなか進むことが出来ずに長がかつて大正池へ着いた。12時半からバスに乗るために並びに行つたが、人が多くてとうとう乗れるメドがつかぬかつ



先生を料理ね
マナ板

木村先生の巻

る内にうつつてしまつたというこ
とだ)で足はバタンバタンと調子
をとつて(これは小さい時に習わ
れた仕舞の名残りでもあるうか)
面白おかしく授業をなされる。又
黒板に書かれる字のきれいなこ
と、弘法大師も顔負けの美しさで
ある、残念なことには書かれる時
の顔の余りにもグロテスクなこ
とである。(御本人に見えないのが
ちやんざらしいです。はい、野球に
とた)で足はバタンバタンと調子
をとつて(これは小さい時に習わ
れた仕舞の名残りでもあるうか)
面白おかしく授業をなされる。又
黒板に書かれる字のきれいなこ
と、弘法大師も顔負けの美しさで
ある、残念なことには書かれる時
の顔の余りにもグロテスクなこ
とである。(御本人に見えないのが
ちやんざらしいです。はい、野球に

主 張 現実社会を見よう

考えた方がいいだろうか。勉強を
 することは何よりも切だ。しか
 しもつとつと大切なことを忘れ
 ているような気がする。あまりに
 も勉強のことばかり考えすぎて
 今、我々が生きている現実社会と
 いうものを忘れてしまつていろ
 うのではないだろうか。

しかし、皆が皆そうであるとは
 ないだろう。

りかけている今日、このままでは
 カチカチの勉強カ、自分の歩む
 べき道、大学へ行くにだけでは
 ない。知らない生徒しか出来な
 いのではないだろうか。我々学生
 が生きているこの社会に於て、そ
 れらの問題を考えることは当然で
 はないだろうか。

我々も大きくなれば（いや、も
 ちろん、今回の主張は少し傾向
 を変えたわけなのですが、解つて
 もらうべきところがある）、解つて
 もらうべきところがある。

× × ×

奥平から檜ヶ岳を望む（垣田君提供）

て、汽車は時刻に間に合った。
8月11日 松本→京都
車中では全員くすりと眠む
り、気が付いたら名古屋であつ
た。そこで正木先生と別れ、8時
過ぎに京都に到着した。

(日) A・奥島俊介記

参加者
正木先生、堀田、宮崎、革島
加藤、神崎、奥島(以上高二)

まず御ちやん。誠にその名の通りいいカンジの先生ではあるが、先生程の多趣味・多特徴を持つておられる先生はこの学校中にはないだろう。話し方、怒り方、歩き方、書き方、すべて特徴づくめである。廊下で左足を出し、次に右足を出される。当り前のこと。しかしその時背が左へ斜めに20度程傾き、そのとたん右足が左足の歩巾の二倍近く開くというような

食べ方も変つていますよ。口を開けただけ開いて飯をほうり込む(すみません)といった具合である。まあ先生というよりは兄とい

ある光をはなちますよ。心に苦しみある者は訪れてみたまえ、必ずよき助言者になつて共に苦しんでくださるだろう。ちよこ書き忘れたが木村先生の怒り方のエピソードを一つ、ある時先生が非常に怒られた(少なくともそう見えたのだが)御ちやん曰く「僕は怒つてらんじやないんだよ、叱つてゐるんだよ。一瞬僕達をカッ。その相違とは、自分の感情を荒ら立て



友達と語せば勉強のごとに聞してだけしか語るが生徒が多くなつた。更に大きくなつて

× × ×

号真说明—三候

グリークラブ
部員募集

どしどし苦名先生

▲君曰く「默想中に薄目を開けて見ると、観ぢやんの目は異様に輝いて何ともいえないスリルを感じる」そのスリルが先生の人気の原因の一つをなしているかもしれない。独特のアクセント（なんでも先生が言われるには、大学時代にと、写真を伴はずこと、の三つに）を張らあげて歌をうたうところであり、自分の感情を盛り立てて相手に当てるのが怒であるといふことでした。さき程もいつたように木村先生は生徒の立場をよく理解して、話の大要よくわかるやさしい兄である。諸君どしどし観ぢやんを利用しよう。



河村 新局長



号真説明＝三侯蓮華から槍ヶ岳を望む（垣田君提供）

グリークラブ
部員募集

どしどし苦名先生へ

参加者
正木先生、垣田、宮崎、革島、
加藤、神崎、奥島（以上高一）

8月11日 松本→京都
車中では全員ぐつぐつと眠り、気が付いたら名古屋であつた。そこで正木先生と別れ、8時過ぎに京都に到着した。



木村先生の巻



けただけ開いて飯をはうり込む
(すみません)といった具合であ
る。まあ先生というよりは兄とい

の顔の余りにもグロテスクなことである。(御本人に見えないのが残念ですよ。又颯ちゃんの弁当の

面白おかしく授業をなされる。又黒板に書かれる字のきれいなこと、弘法大師も願ひの美しさである、残念なことに書かれる時

る内にうつつてしまつたといふ
とだ。て足はボタンボタンと調子
をとつて（これは小さい時に習わ
れた土謡の名残のでもあらうとい

国宝を保存するために特別な金
を作ります。同じように、心理の
宝である聖書を誤りなく保存する

授け、私があなた達に命じたことをすべて守るように教えなさい。私は世の終りまで常にあなた達と共にいると。

二 神父

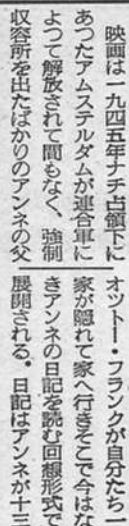
て

トは天国へ登る前にその使命を次のように弟子達に授けました。

あります。イエズス・キリストは
全世界の人に神の生命を与え、そ
れを永遠に救いたいからであります。

キリスト様は国民に話した時、皆から良く理解されるように話したが、時代を越えて全人類に向つて理解出来るように話したので

映 画 紹 介



く「新しく建たあの家のお二階で、先生もびつくりしたような気分です」と教えて下さった。どうやら近々らしいので安心し教えられた家へ行った。さっきのように又「こんにちは、先生おられますか」と言を開けはいつていくと銀髪のおばあちゃんが出て来て「先生なこの間ひつこされましたよ」とよほすほどの声でしゃべられた。僕達は本当にものすごくびっくりして又「どこへいかれたのですか」と聞いた。おばあちゃんは、「私はよくわからないからあなたのかのサンパツヤサンで聞いて下さいか」といわれたので僕は又その家をさいならしてサンパツヤサンでひっこし先を聞きその家へといそいでいた。もう空はずいぶん、僕は心細そうに重い足をひきりとりとうとうサンパツヤサンでおしえてもらった家にきた。先生がついききは置かれたスズモベットのそばにおられるように見えたのもうまがいがないだろうと思つて入つていった。ちようどはいった所に先生がスズモベットのそばをしておられた。「先生なにをいふ出ない声を出してあいさつした。とっせんだったのか。」と聞いた。その人はくわしかた。クラレル氏が胃潰瘍で入院したという悪いニュースと共にアメリカ軍がタリブ上陸に成功したというニュースも入った。四月のある日フランク夫人とアン・ダーンが……。

先生たちの部屋は二間らしく大へんきれいに整つていた。さうそく質問にとりかかると思つたが、奥さんと一緒の方がいいと思うて写真をみせてもらつてまつていた。しばらくして奥さんが出てこられた。70点~75点なんてでもない、目がくりくりと大きくぱちぱちやと大へん可愛らしい顔をした。先生もびつくりしたような気分持て「やあ」といつてこちらの方へ歩いてこられた。玄關の所で立ちまちよこつとしやべり中の方へとついてもらつた。奥さんは出てこれなく奥の方で声だけがしていた。僕は声だけをきき「これれやつたら70点~75点ぐらいかなあ」と言いながら部屋においてある小ぢやかな机の前にすわつた。



人は見かけによらず、拍子抜けがして、しまいはあきないと言われる場合、れながらも引退さるを得ないようになる。時々大きな爆弾を落さがある。又、第一印

の中が忙し過ぎるためか、第一印象だけで人の評価をする事が極めて多い。ところが、しばしばづれてゐる。それで第一印象だけでは判断できぬ、という見方も生れて来るのであろう。

中三の文君は一見、大層おとなしそでいつもニコニコして非常に感じの好い子であり、顔に似て氣も小さそうに見える。ところが、大違いである。彼には恐い方の神経が一本抜けているのか、どんなにひどく怒られていても、白い歯を時々ちらつかせ、大きな目をパチパチさせながらきまり悪そうな顔をするだけでちつとも反応がない。それが少しも先生を鷹鷹にしているのではないので先生も入つたものだと言へる。

高一にはY君がいる。ニツクネームの通り骨と皮だけのよな体たれに、高一とは見えぬ可愛らしい子供っぽい顔をしているが、これ程は彼の名譽のために言つが、頭固い事で決してない、あれでなかなか図太い神経の持主だそでである。彼は組の行事などには卒先立して仕事をするだけでない、流行歌も上手だし、未だ拜聴した事はないが落語もうまいそである。

彼等は一見虫を殺せぬようななまよふとした風采をしておりながらギョツとするような事をやるのである。

これに対して並はづれて大きい人に氣の小さい人が多い。相槌の

ないといふこと

うな恰好をしていて、おまを細やかな神経など持ち合わせていそうにも見えないがそつでないらしい。髪は少しでも長い人があればたとえ先生でも散髪するように思惟するのだとてである。

これを見かけによらぬ人物たち、はじめの印象と違つていても

らまれている人がいるが、私も小さい時から身にしみるほど経験してきた。

小学校のころ、私は鐵鬼大將なつたのでよくその学校の生徒と喧嘩したが、大きな子は必ず私を目がけてかかつて来た。逃げるわけにもいかずすくなくられたりなつ

七

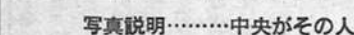
になつてからは、この事件が妙に

村輝 一

にニキビが一面に出来ていたので、反感も手伝つてか、ふと「あの先生は、ニキビ元帥ぞ。」と友達にもらした。ところがそれが次々と伝わり、その先生の知るところとなり、激怒した先生は言つた人を一人一人たづつてきてどうぞ私はどう捕つてしまつた。職は色々と考えてみた結果、自分は

頭になつてからは、この事件が妙に頭にこびりついて離れなくなつた。自分は自付は悪いし、ソバカスはあるし、その上にニキビまで吹き出すような御面相なのでもし人前に出たら相手がいやがるのではないかと思ひはじめた。こう思始めいるとそれが真実味を得びてきてどうして頭を去らない。私

自分の顔を持て余してないてゐる善良な人間に見えて仕方がない。私はそのうち洛果がふたつて、その會長になつて、人相の悪い男は悪人である」といふ世間の見方、つまり第一印象だけで人間を評価する因襲を破りたいものだと思つてゐる。



第 4 回

「オヤ、なんですか。でも見れば見る程これはこれ、昔の面影がありりと表われて来てるでしよ。同じ人間なんだからさ。さてこの坊っちゃん、いやこの坊っちゃん、先生は、と言つて、大麥面白く、て物解りの良い人物である。」「い、あんな怒りっぽい先生は無い。」「時としてこんな醜態が繰返される。一面つき合にくい先生で、はあが確かに面白い。こんな白く、きの人物である。」「何にしても、この写真を良く鑑察することが何よりだと思ひますな。」「は、又も可憐らしいお坊っちゃんですね。」「それにしても少し弱すぎたなあ。」「と思つのはまだ早すぎますよ。」「なにしろはるかな昔の事がねえ。」

白井良平先生

出身地 滋賀県大津市
略歴 昭和三十四年三月
京都大学農学部卒、
身長、体重 一六三センチ
五五キロ
特長、趣味 特になし
結婚 未婚 未定
本校第一印象 清純そのもの
生徒に対して 別になし
酒 飲まない。

編集後記

▽第三十九号新聞をお届けします。はじめて高一が中心になつてしたので、いろいろ不手際があつたりなどして発行が遅れたことをおわびします。

▽都合で一時新聞局をやめておられた日工Bの藤浪泰君が復帰されました。以前にも増した活躍が期待されます。尚、局では生徒諸君特に日工生の入局を期待しています。